

K-V/O

数理解析研究所講究録78

複素解析幾何学研究会報告集



京都大学数理解析研究所

1969年12月

複素解析幾何学研究会報告集

1969年7月8日 ~ 7月10日

目 次

1. *Analytic scheme* 上の定理 A, B について ----- 1
東大 理 斎藤 恭司
2. 有界領域における多項式的増大関数に対する
関 - *Cartan* の定理 ----- 16
名市大 経 岩橋 亮輔
3. n 次元正規偏極アーベル多様体の族のオナー種
特異ファイバーについて ----- 22
東大 理 上野 健爾
4. *Kuled surface* について ----- 37
京大 理 永田 雅宜
京大 理 丸山 正樹

5. テータ-常数について ----- 53

名大 理 森川 寿

6. 複素曲面に ついてのいくつかの未解決の問題 ----- 66

東大 理 小平 邦彦

7. High derivation とその応用 ----- 76

天阪大 理 中井 喜和